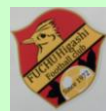


平成29年12月28日

風は東から



To be continued...

新人戦は地区ベスト8 これが現在地…
年末も恒例フェスティバル三昧!!

新人戦 VS 日野台 2-3 力負け!! 選手権のリベンジされました…

新シーズンへ向け、この冬も鍛えて、心身ともに逞しく成長する!!

12月17日(日)、新人戦七地区準々決勝が、明大中野八王子高校グラウンドで行われました。三回戦の片倉高校戦から約一ヶ月が経過し、新チーム作りも東高サッカー部のベースの部分の共通項について確認作業をTRで行いながら、強豪日野台高校戦に臨みました。しかし、新チームに移行して二週間という短期間では、TR時間は十分に取れなかったため、TRMで駒大高、東海大高輪台、石神井高校というTリーグのチームを始め全六試合を行い、実戦を通してチームを組み立てる形式で大事な一戦を迎えました。もちろん、日野台高校は選手権のリベンジに燃えているはず。選手権時よりも、厳しい闘いになるのは覚悟の上です!!

この日は、新チームの守備の要として期待していた高橋了(2年)が、直前のけがで離脱し、選手権二次トーナメント経験者は二人。スタートの八人が一年生という、フレッシュな布陣で臨みました。立ち上がりこそは、緊張感からか攻守に亘りチグハグなところが多く、特に、GKからのビルドアップのところで慌ててしまい、決定的なピンチを招くこともありました。ここで、失点しなかったのが、この後ゲームの流れを東高に引き寄せ、前半7分の福田(2年)の先制ゴールにつながりました。ここから徐々に東高のペースでゲームが進みます。今年のチームコンセプトに沿ってTRしてきた形がゲーム中に随所に見られ、相手ペナルティエリア内に侵入し、決定的なチャンスを何度も作りますが、肝心のゴールが奪えません。前半のうちに決めていれば…。

後半は、一進一退の攻防が続きます。日野台高校もスピードのある選手を生かそうとDFラインの裏へ蹴ってチャンスを作ろうとしますが、ミスが多く助かりました。後半21分に、相手CKのこぼれ球からあわや同点という場面体を張って凌ぐと、リアクションから一気に駆け上がり、工藤(2年)が相手GKをかわし、無人のゴールにボールを流し込み2-0。残り時間は17分です。



<今年公式戦二度目の対決 VS 日野台 新チームの現在地を知る上で貴重なゲームとなった>

2-0リードから逆転を許し、日野台高校に力負け…

二点リードしたことで、安堵感による気の緩みがなかったわけではありませんが、日野台高校は直後のキックオフから、一番ケアしていた右サイドの縦突破からのセンタリングを、交代出場の左サイドの選手がボレーで決め、直ぐに一点差に詰め寄ります。ここからは、お互い目まぐるしい攻防が続きましたが、何とも呆気ない形から同点ゴールを許します。CBが負傷退場し一名少ない場面でのゴールキックを東高守備陣の裏にヘディングで跳ね返され、そこに走り込んだ選手に決められました。その後、両チームとも80分で決着をつけようと必死に攻め続けましたが、ラスト3分にリアクションから突破を許し、逆転シュートを決められ万事休す。結局、**2-3** 逆転負け。最終的には、二点差をひっくり返され、地力に勝る日野台高校にねじ伏せられた形となりました。

残念ながら、新人戦は、**七地区ベスト8**で終了。三大会連続都大会の道は途絶えました。

各種フェスティバルに参加し、心身ともに鍛錬中!!

17日の新人戦敗戦後、翌々日には、駒大高校とTRMを行い、23日からは川崎カップ、26日からはチームを二つに分け東京ユースカップ(初参加)、湘南フェスティバル、東高サッカーカーニバルと年末恒例の各種フェスティバルに参加し、ゲーム三昧の日々を送っています。既に、次への闘いはスタートしているのです。



「ゲームが最高のTR」であるというスタンスの下、自分たちの現在地を確認しながら、課題を見つけ、その解決に真摯に取り組み、次のゲームでチャレンジしていくというサイクルを構築していきます。連日のゲームで心身ともに追い込まれていますが、冬のこの鍛錬期にTRした分が、春のシーズン時にひと回り遅しく成長して迎えることができます。自分に妥協せず、常に上を目指してレベルアップを図ってほしいものです。

「冬に泣いて、春に笑う!!」「弱いチームに休みはない!!」の精神で、今年も鍛錬期を迎えます。



<フェスティバルでは多くのチームとのゲームを通し、多くのことを学んでいく絶好の機会である>

<After the Game>

新人戦は、残念ながら力及ばず**地区大会ベスト8**でした。これが、新チームの現在地です。この結果を真摯に受け止めて、冬の鍛錬期に臨みたいと思います。

さて、新チーム立ち上げから一か月近くが経過しました。例年、この時期は、「原点回帰」ということで、東高サッカー部のベースの部分に触れて、基本的なTRと並行して特にフィジカルトレーニングにしっかり取り組んでいきます。今年は、今まで以上に追い込まないといけませんね。

また、恒例のフェスティバルでは、対戦校の先生方に大変お世話になっています。運営側のご配慮もあり、多くのフェスティバルに参加できて、本当に感謝感謝です!! 年末だけで**二十試合**と、子どもたちにとって自分自身を成長させる、これこそ最高の**クリスマスプレゼント**ですね。